

福岡市長賞

「税金に感謝」

福岡市立三宅中学校 3年
長谷川 裕妃

「税金について答えなさい。」と言われて、皆さんは何を思いますか。私は消費税しかピンとくるものがありません。今回この作文を書くにあたって調べてみたら、私たちの生活や安全を守るために使われていることが分かりました。母に「税金についてどう思う？」と聞いてみました。すると母は「あなたの毎月の病院代も税金で補填されているのよ。」と教えてくれました。

私は先天性の心臓病と闘っています。母が妊娠8ヶ月の時に私の心臓に異常があると医師に告げられました。「お腹にいる時は元気だけど生まれて来る確率は1～2%です。」と医師に言われ母はショックを受けました。生まれたと同時に私は保育器に入れられ、救急車で福岡市立子ども病院に運ばれました。私の体にはたくさんの機械がつけられ、見るにたえられない姿だったそうです。生後1ヵ月・11ヵ月・3才の時に心臓の手術を受けました。自分では、生まれた時の手術の実感は全く分かりませんが、3才の時のことはよく覚えています。手術はとっても怖くて辛いものだったことを今でも覚えています。医療費や手術の費用、入院の費用にとってもお金がかかったことを知りました。手術のおかげで今の自分があります。

この費用は税金から使われていました。私は、全くそんなことは知らずに生活していました。正直、最近まで税金と聞いて良いイメージを持ったことがありませんでした。今までは税について消費税をとられるというマイナスのイメージしかなかった私ですが、税金が私達の健康を支えてくれていると知って驚き、嬉しくなりました。国民が納めてきた税金が巡り巡って、私達の生活をより便利に豊かにしていると実感しています。税金なんか無くなれば良いと思う人が少しでも減るように税金の大切さを訴えることが出来たら良いと思います。国民一人一人が納めた税金は、大切に使って欲しいと思います。光り輝く未来のために……。

そして私が大人になって税金を納めるようになった時、今度は私が少しでも誰かの役に立つように恩返しの一つとして、税金を納めていきたいと思います。

安定した生活や健康で文化的な社会を実現するために……。